

歴史史料 ご担当者様

●配本部数指定のお願い●

新刊 1月中旬 発売

芙蓉書房出版

〒102-0073

東京都千代田区九段北 1-10-5

<https://www.fuyoshobo.co.jp>

TEL:03-5579-8295

満州事変後、日本はどこへ向かった？

大蔵公望日記 1

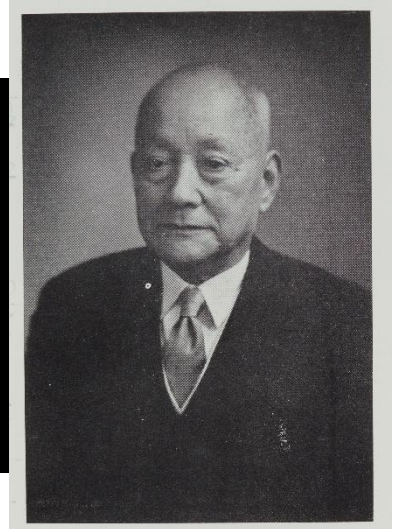
おおくら きんもち

昭和七年～九年

一般社団法人尚友倶楽部 原口大輔 編

A5判 上製 382頁／本体：7,000円

昭和7～9年、激動の日本。
一人の技術官僚が見た、
「国家形成」の内側。



大蔵公望とは？

開成中学、第一高等学校を経て、東京帝国大学工科(土木科)を卒業。鉄道官僚から南満州鉄道理事を務めたのち、貴族院議員となり公正会に所属、昭和九年には国策研究会の創設に関わるなど、日本の「国策形成」の中枢に位置した。

日本政治の「裏側」がわかる貴族院議員の日常記録

日記には、満州問題に関する意見具申や講演、六日会・中央満蒙協会などの活動、貴族院や政党人脈との会合の様子が具体的な人名とともに書き込まれており、政策決定過程の実態を知るうえで貴重である。

『大蔵公望日記』シリーズ案内(年1巻刊行予定)

- ・大蔵公望日記 2 昭和十年～十二年
- ・大蔵公望日記 3 昭和十三年～十六年
- ・大蔵公望日記 4 昭和十七年～二十年

全4巻で、大蔵公望が記した昭和7年から20年まで14年間の全日記を順次復刻

1月中旬より順次出荷します。 **FAX:03-5579-8786**

番線印	発行 芙蓉書房出版	注文数	担当者
	大蔵公望日記 1		
	1月新刊 本体 7,000円		
	ISBN978-4-8295-0917-3 C3021		